



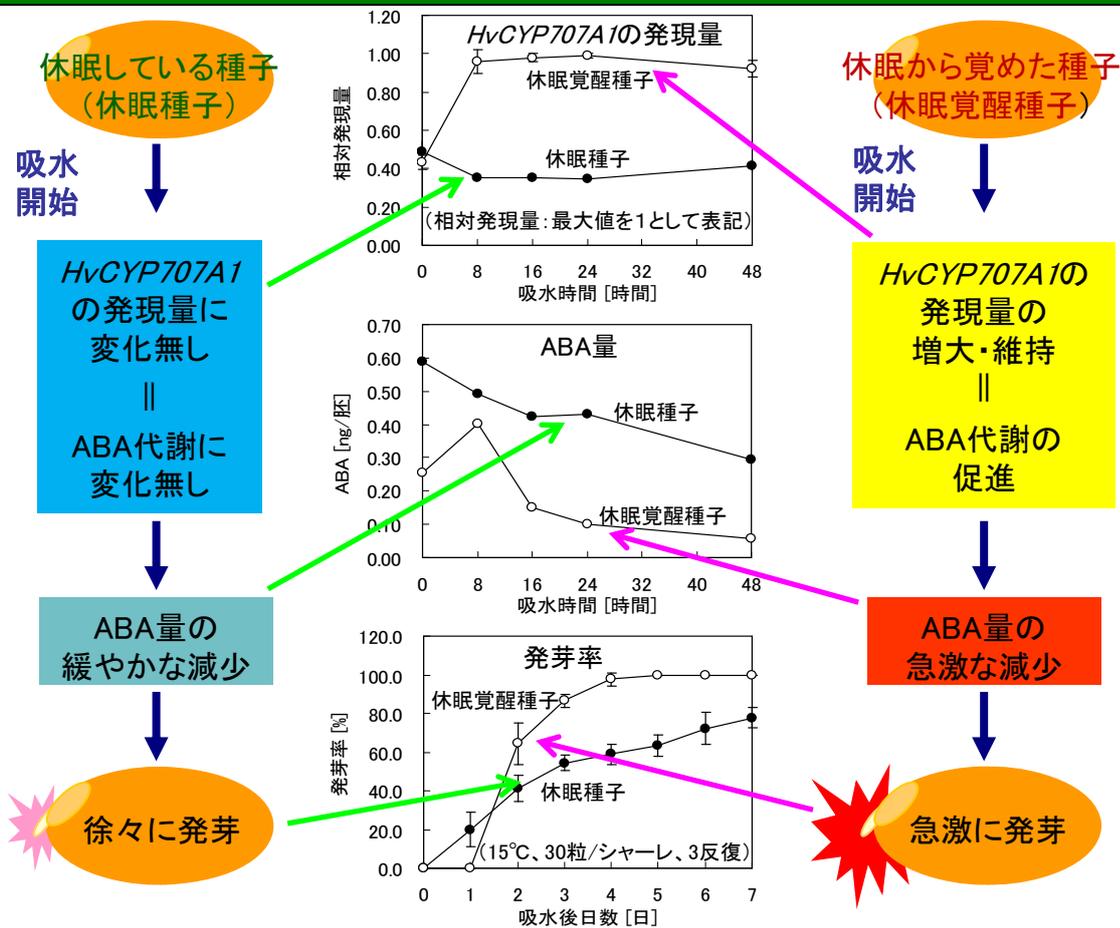
# アブシジン酸代謝酵素遺伝子の発現が関与するオオムギ種子の休眠覚醒

ムギ類種子の休眠は、穂発芽(穂の上での種子発芽)に関わる重要な生理的機構です。種子休眠の形成や維持には植物ホルモンであるアブシジン酸(ABA)が関与しています。休眠から覚めたオオムギ種子の発芽には、吸水前の種子内部に含まれるABA量の多少だけでなく、吸水後の種子内部でABAの代謝が促進されることにより起こる、ABA量の急激な減少が関与していることを明らかにしました。

## 種子休眠とABA量の関係

休眠している種子は、吸水後、種子胚に含まれるABA量が緩やかに減少し、徐々に発芽します。しかし、休眠から覚めた種子は、吸水後にABA量が顕著に減少した後、急激に発芽します。

## HvCYP707A 「ABA代謝に関与する遺伝子」と発芽の関係



オオムギの穂発芽に関与する種子休眠機構解明のための基礎的知見であり、将来の穂発芽被害軽減技術の開発につながると期待できます。

Regulation of Abscisic Acid Content and Germinability during Grain Development in Relation to Pre-harvest Sprouting in Barley Seeds